統計をみよう

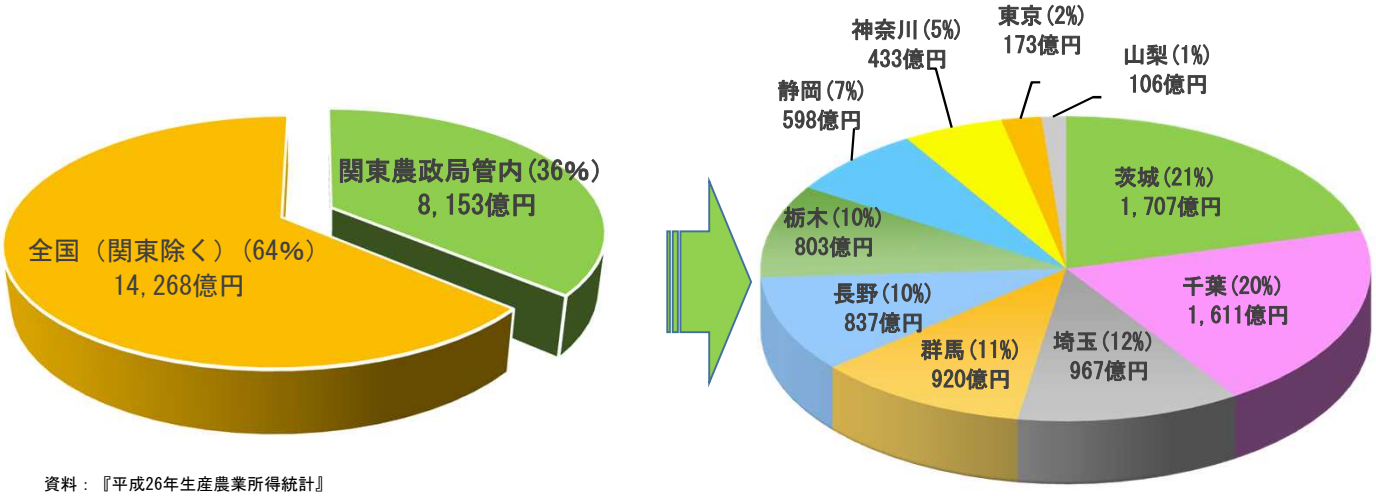
関東農政局統計部
平成28年11月15日

関東農政局管内の野菜

1　野菜の産出額

○　関東農政局管内の野菜の産出額（平成26年）は8,153億円で、全国の36%を占めています。
○　管内の野菜の産出額の割合を都県別にみると、茨城県が21%で最も高く、次いで千葉県（20%）、埼玉県(12%）の順となっています。

平成26年野菜の産出額（全国・管内）

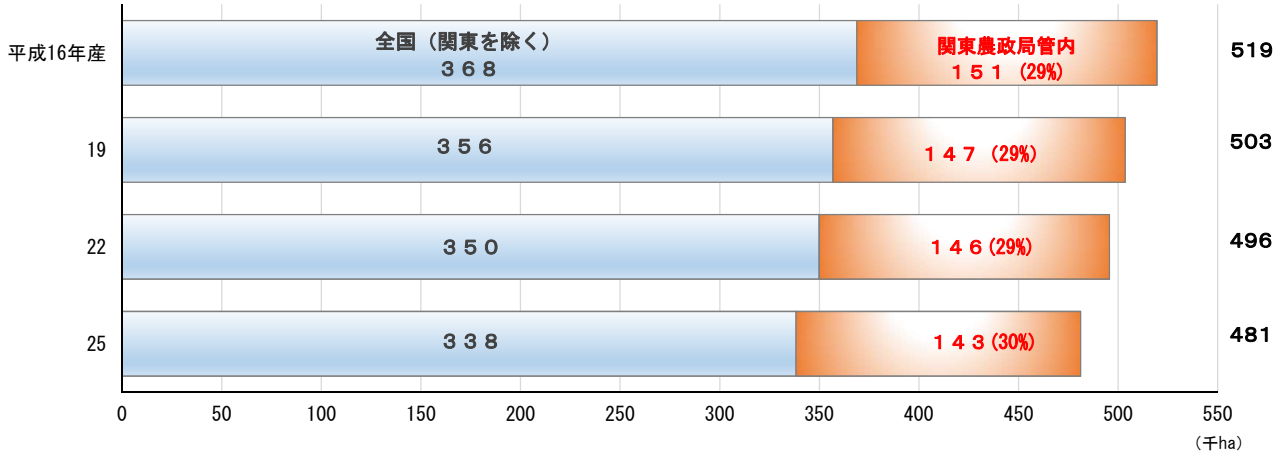


資料：『平成26年生産農業所得統計』
注：　統計数値については、表示単位未満の数値を四捨五入したため、合計値と内訳の計が一致しない場合があります（以下同じ。）。

2　野菜の作付面積の推移

○　直近の全国調査年（３年周期）である平成25年産の全国の野菜作付面積（延べ面積）は48万1,100haで、16年産に比べ３万8,300ha（７%）減少しています。
○　関東農政局管内の25年産の野菜の作付面積は14万2,900haで、16年産に比べ7,800ha（５%）減少しています。

野菜の作付面積の推移（全国・管内）



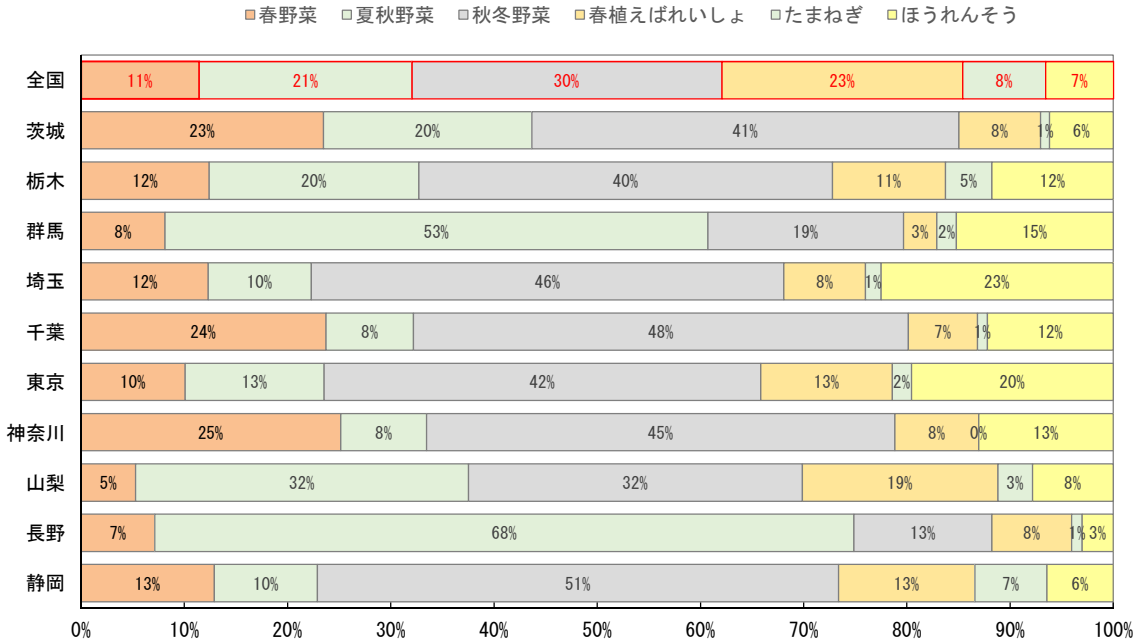
注：　野菜調査は３年周期で全国調査を行っており、それ以外の年は主産県を対象に調査を行っています。このため直近の関東農政局管内の作付面積は平成25年産となります。

3　野菜の生産状況

平成27年産指定野菜の作付面積の割合

○　全国の指定野菜の作付面積割合をみると、秋冬野菜（30%）、春植えばれいしょ（23%）、夏秋野菜（21%）の順で作付けされています。
○　管内の指定野菜の作付面積割合は、秋冬野菜の割合が高く、次いで夏秋野菜、春野菜の順となっています。
○　管内の野菜で全国の上位を占める品目は、秋冬野菜では千葉県の冬にんじん、茨城県の秋冬はくさい、夏秋野菜では長野県の夏はくさい、群馬県の夏秋キャベツ、春野菜では茨城県の春レタスなどとなっています。

指定野菜の作付面積割合（平成27年産　全国・管内）

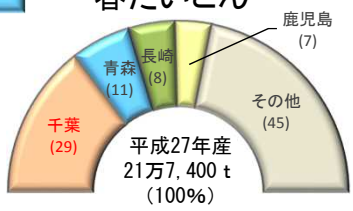


注：「指定野菜」とは、消費量が相対的に多く又は多くなることが見込まれる野菜であって、野菜生産出荷安定法施行令（昭和41年政令第224号）第１条に掲げる14品目をいいます。

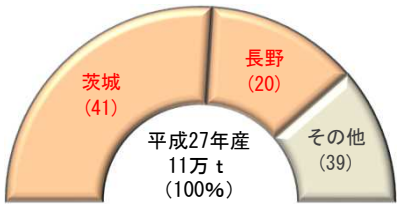
4　平成27年産野菜の品目別の収穫量（管内都県が収穫量で全国1位となっている品目）

（１）春野菜

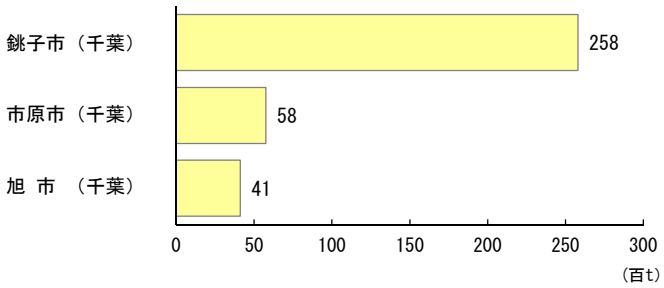
春だいこん



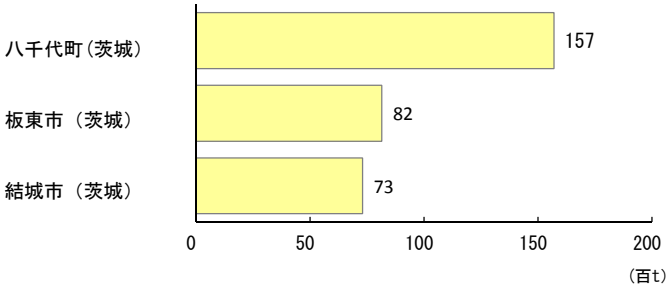
春はくさい



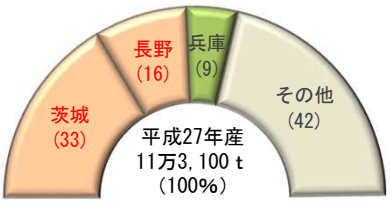
（参考）　管内収穫量上位３市町村（平成26年産）



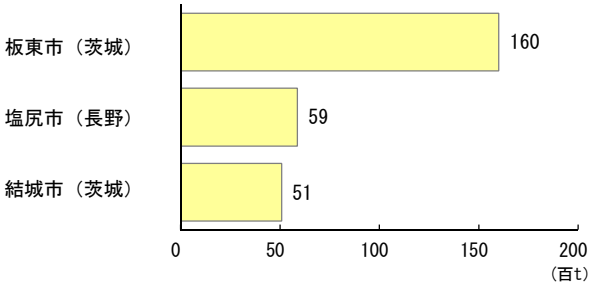
（参考）　管内収穫量上位３市町村（平成26年産）



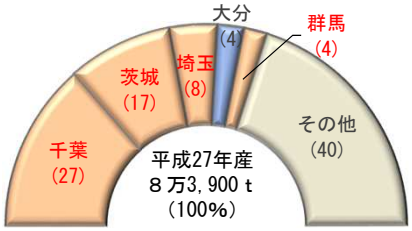
春レタス



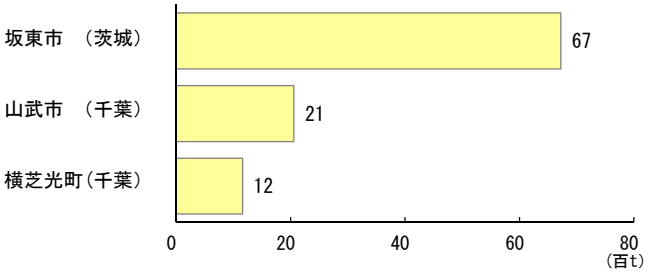
（参考）　管内収穫量上位３市町村（平成26年産）



春ねぎ

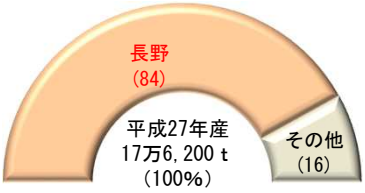


（参考）　管内収穫量上位３市町村（平成26年産）

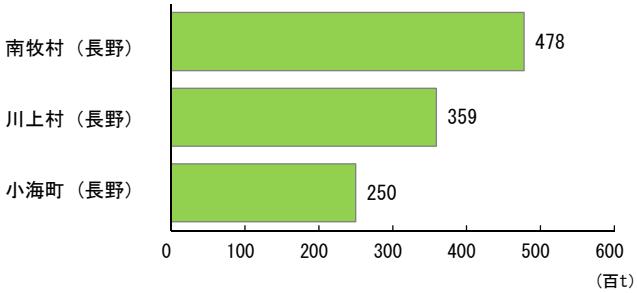


（２）夏秋野菜

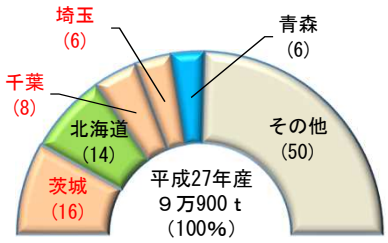
夏はくさい



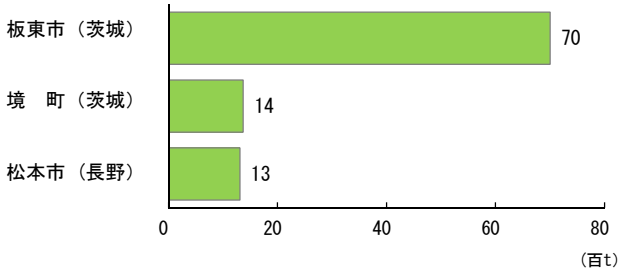
（参考）　管内収穫量上位３市町村（平成26年産）



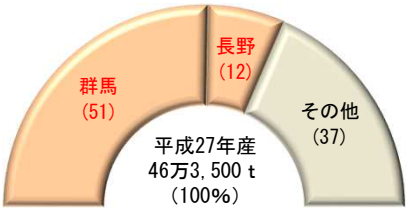
夏ねぎ



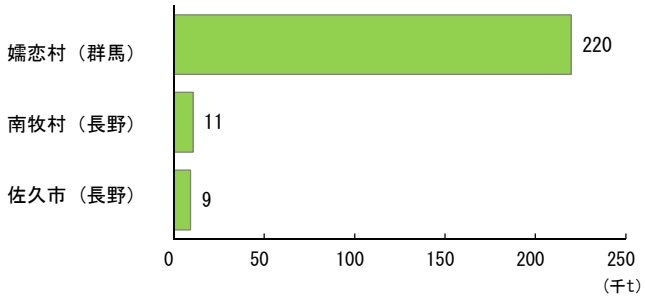
（参考）　管内収穫量上位３市町村（平成26年産）



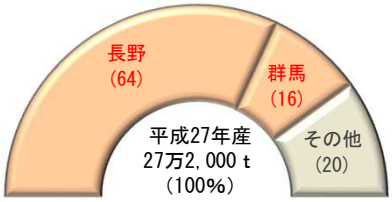
夏秋キャベツ



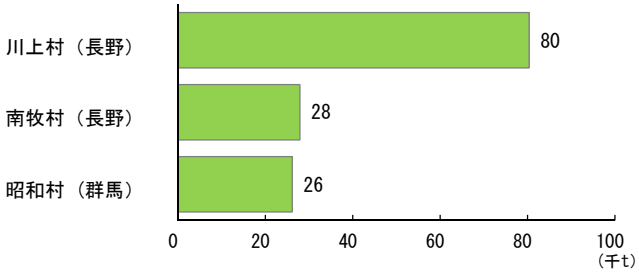
（参考）　管内収穫量上位３市町村（平成26年産）



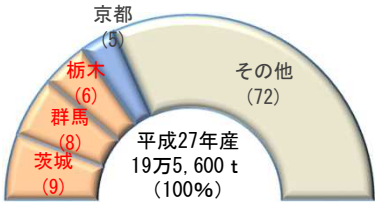
夏秋レタス



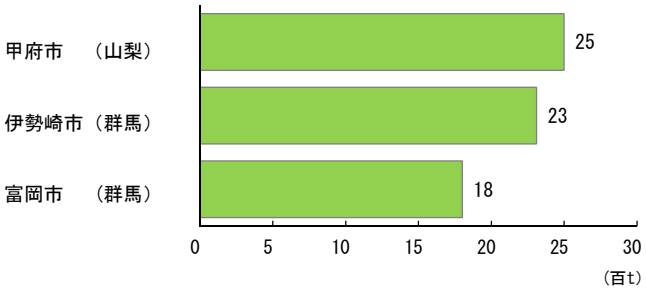
（参考）　管内収穫量上位３市町村（平成26年産）



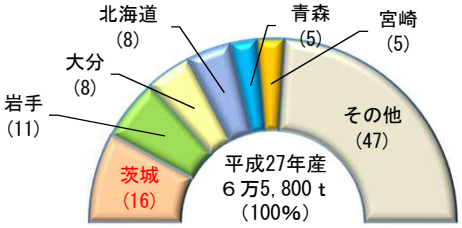
夏秋なす



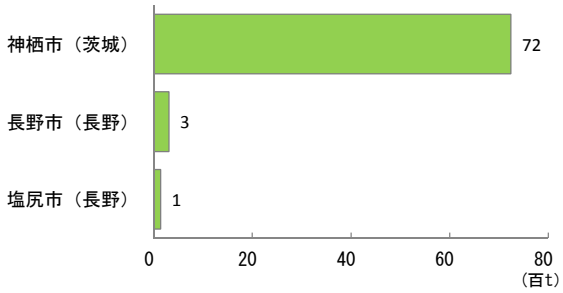
（参考）　管内収穫量上位３市町村（平成26年産）



夏秋ピーマン

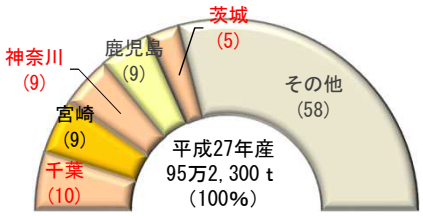


（参考）　管内収穫量上位３市町村（平成26年産）

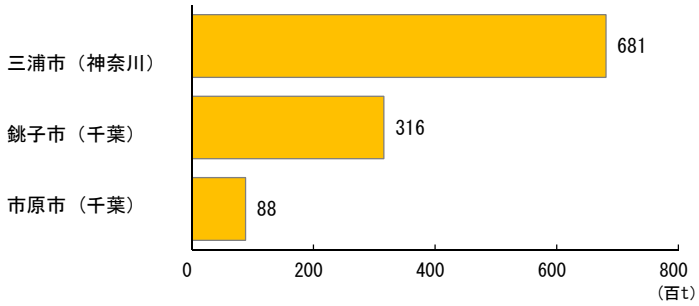


（３）秋冬野菜

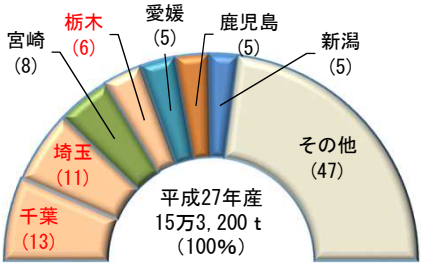
秋冬だいこん



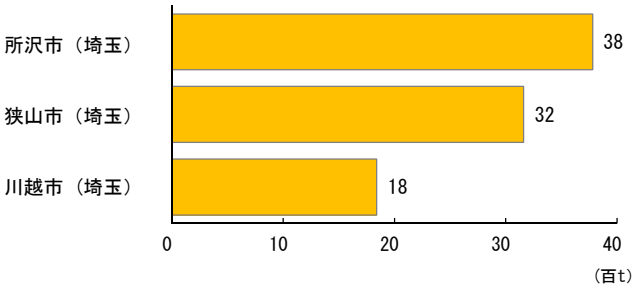
（参考）　管内収穫量上位３市町村（平成26年産）



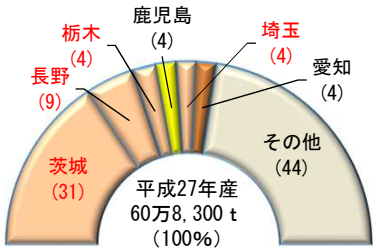
秋冬さといも



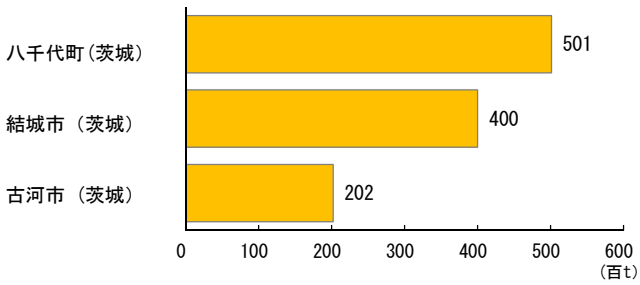
（参考）　管内収穫量上位３市町村（平成26年産）



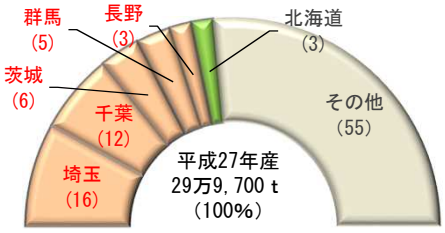
秋冬はくさい



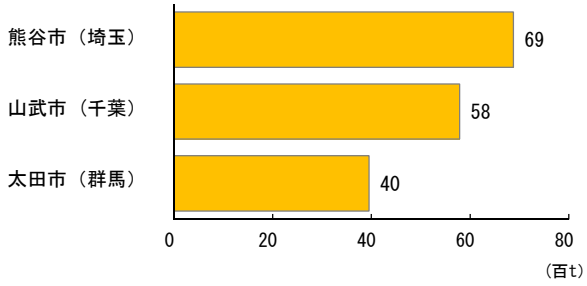
（参考）　管内収穫量上位３市町村（平成26年産）



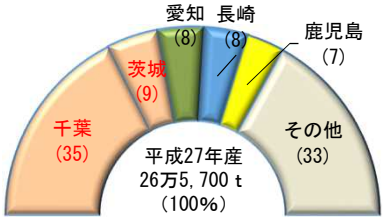
秋冬ねぎ



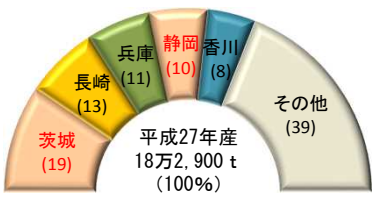
（参考）　管内収穫量上位３市町村（平成26年産）



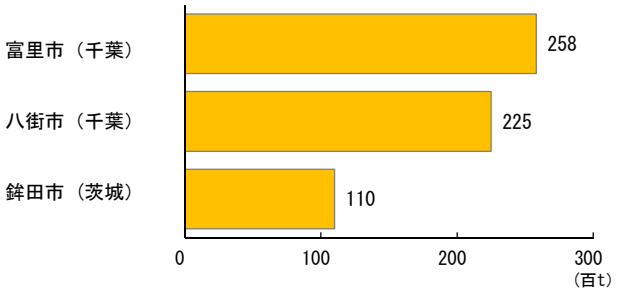
冬にんじん



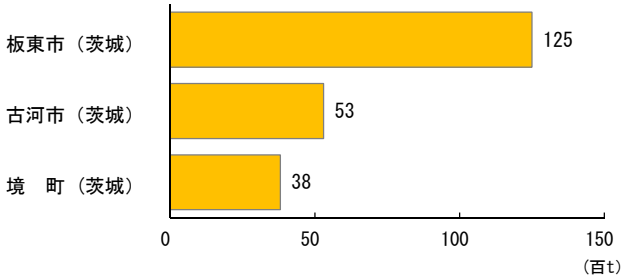
冬レタス



（参考）　管内収穫量上位３市町村（平成26年産）

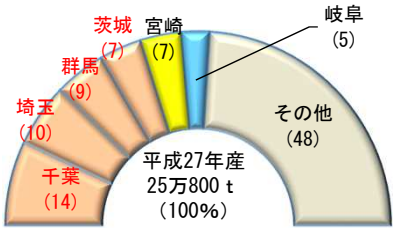


（参考）　管内収穫量上位３市町村（平成26年産）

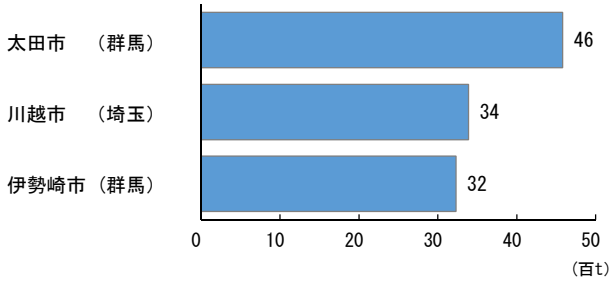


（４）ほうれんそう

ほうれんそう



（参考）　管内収穫量上位３市町村（平成26年産）



（参考１）野菜の主たる収穫・出荷期間

春野菜

春だいこん	当年４月～当年６月
春夏にんじん	当年４月～当年７月
春はくさい	当年４月～当年６月
春キャベツ	当年４月～当年６月
春レタス	当年４月～当年５月
春ねぎ	当年４月～当年６月
冬春きゅうり	前年12月～当年６月
冬春なす	前年12月～当年６月
冬春トマト	前年12月～当年６月
冬春ピーマン	前年11月～当年５月
春植えばれいしょ	
都府県	当年４月～当年８月
北海道	当年９月～当年10月

夏秋野菜

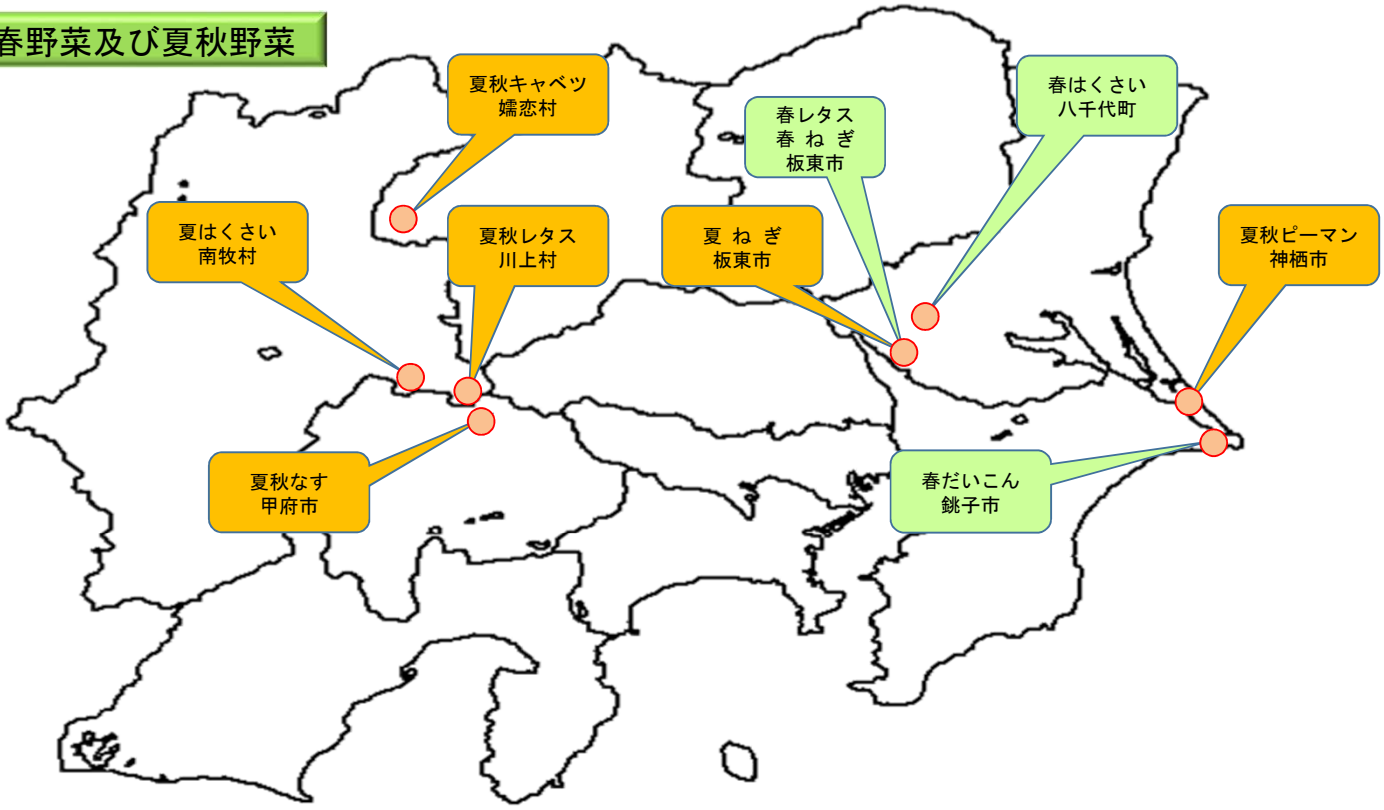
夏だいこん	当年７月～当年９月
秋にんじん	当年８月～当年10月
夏はくさい	当年７月～当年９月
夏秋キャベツ	当年７月～当年10月
夏秋レタス	当年６月～当年10月
夏ねぎ	当年７月～当年９月
夏秋きゅうり	当年７月～当年11月
夏秋なす	当年７月～当年11月
夏秋トマト	当年７月～当年11月
夏秋ピーマン	当年６月～当年10月
たまねぎ	
都府県	当年４月～翌年３月
北海道	当年８月～翌年３月

秋冬野菜

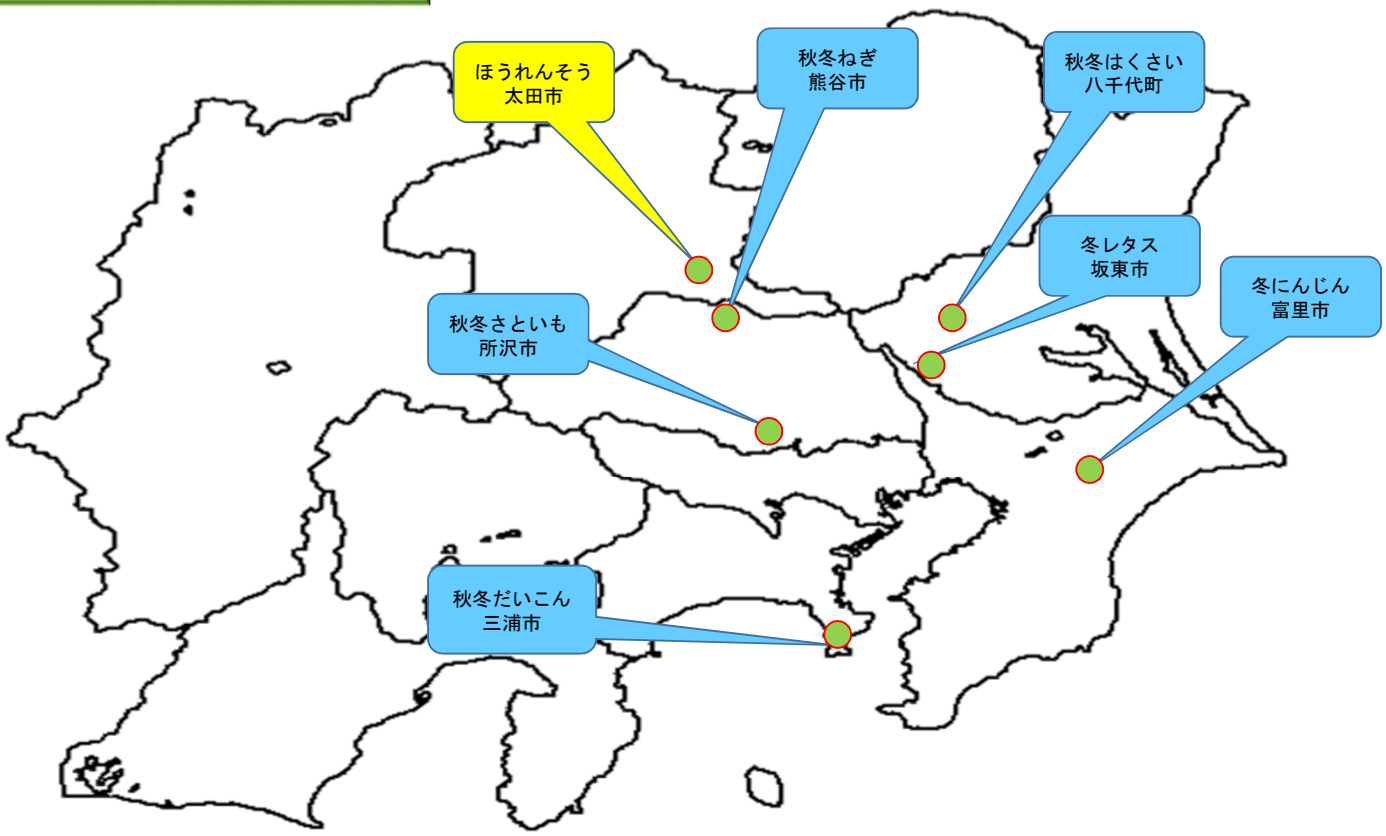
秋冬だいこん	当年10月～翌年３月
冬にんじん	当年11月～翌年３月
秋植えばれいしょ	当年11月～翌年３月
秋冬さといも	当年６月～翌年３月
秋冬はくさい	当年10月～翌年３月
冬キャベツ	当年11月～翌年３月
冬レタス	当年11月～翌年３月
秋冬ねぎ	当年10月～翌年３月
ほうれんそう	当年４月～翌年３月

（参考２）野菜の主な産地（収穫量が管内１位の市町村）

春野菜及び夏秋野菜



秋冬野菜及びほうれんそう



利用にあたって

1　本資料は、農林水産省大臣官房統計部「平成27年産春植えばれいしょの作付面積、収穫量及び出荷量」、「平成27年産指定野菜（春野菜、夏秋野菜等）の作付面積、収穫量及び出荷量」、「平成27年産指定野菜（秋冬野菜等）及び指定野菜に準ずる野菜の作付面積、収穫量及び出荷量」等をもとに作成したものです。
　なお、「1 野菜の産出額」については、「平成26年生産農業所得統計」をもとに作成しました。

2　調査の対象は都道府県を調査対象とする全国調査（直近では平成25年産）を３年ごとに実施しており、その中間年に当たる平成26年産及び平成27年産にあっては、当該品目ごとに全国調査年における出荷量の全国値のおおむね80%を占めるまでの上位都道府県、野菜指定産地の面積要件を満たす区域を含む都道府県、畑作物共済事業を実施する都道府県又は特定野菜等供給産地育成価格差補給事業を実施する都道府県を調査対象（主産県）としています。

3　用語の解説
(1)　指定野菜とは、野菜生産出荷安定法第2条に規定する「消費量が相対的に多く又は多くなることが見込まれる野菜であって、その種類、通常の出荷時期等により政令で定める種別に属するもの」をいいます。
　具体的には、野菜生産出荷安定法施行令（昭和41年政令第224号）第1条に掲げる以下の14品目をいいます。

　キャベツ、きゅうり、さといも、だいこん、たまねぎ、トマト、なす、にんじん、ねぎ、はくさい、ばれいしょ、ピーマン、ほうれんそう及びレタス

(2)　作付面積とは、は種又は植付けをしたもののうち、発芽し、又は定着した延べ面積をいいます。
(3)　収穫量とは、収穫したもののうち、生食用又は加工用として流通する基準を満たすものの重量をいいます。

4　調査期日
　収穫・出荷終了時

この統計調査結果の詳細は、関東農政局ホームページ中の「統計情報」で御覧いただけます。
関東農政局ホームページ 統計情報【 http://www.maff.go.jp/kanto/to_jyo/ 】

この資料に関するお問い合わせは、下記までお願いします。
関東農政局 統計部 統計企画課 TEL：048(740)0058（直通） FAX：048(740)0086
関東農政局 統計部 生産流通消費統計課 TEL：048(740)0595（直通） FAX：048(740)0086